

窓辺をかえる、明日が変わる。

TOSO

株主・投資家のみなさまへ

第74期中間期のご報告

2013年4月1日から2013年9月30日まで

株主優待制度を拡充!!

Contents

トップインタビュー	
大槻社長に聞く! TOSOの中長期的成長戦略	1
当中間期のセグメント別営業概況	3
TOSOはこんな会社です!!	5
TOPICS	
～2013年度中間期の主なトピックス～	7
株主優待制度のご案内/ 株主配当のお知らせ	8
財務諸表 (連結)	9
会社概要/事業拠点一覧/株式情報	10

トーソー株式会社

(東証2部 証券コード: 5956)

大槻社長に聞く！ TOSOの中長期的成長戦略



平素は格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、当社は2013年9月30日をもって第74期（2013年4月1日から2014年3月31日）の中間期を終了し、増収・増益を達成する事ができました。

ここに事業の概況と今後の諸施策につきましてご報告いたします。

今後とも皆様のご期待に沿うよう、経営成績の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長

大槻保人

Q

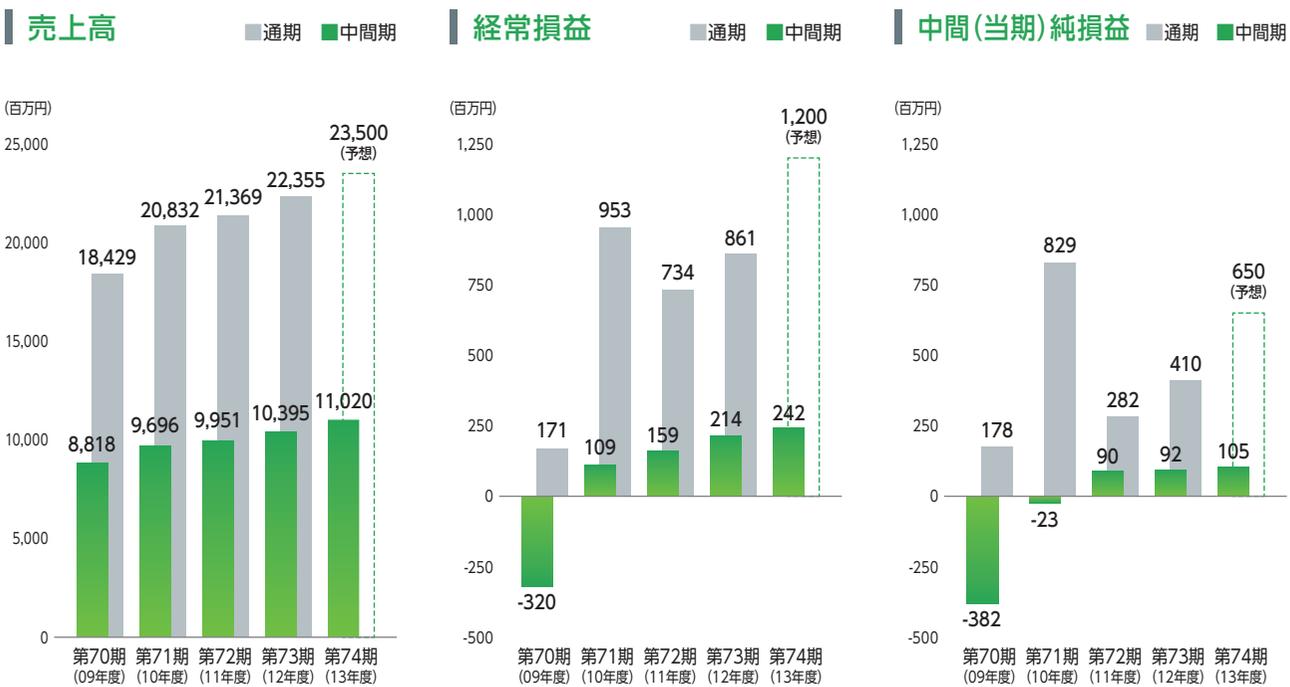
建設・住宅市場の状況と、当中間期の業績はいかがでしたか？

A

建設市場全体は緊急経済対策を盛り込んだ大型補正予算などの影響もあり、公共事業を中心に回復基調が鮮明となってきました。当社の業績に大きく関連する新設住宅着工戸数は、リーマンショックによる世界的な景気低迷などにより大きく落ち込んだ2009年度以降、政府による住宅関連の景気刺激策の後押しなどにより緩やかな回復基調が続いています。当中間期におきましても、復興需要の下支えに加え、金利の先高感や消費増税前の住宅購入意欲の高まりなども影響して、前年同期を上回る水準にて推移しました。

こうした事業環境の下で、当中間期の売上高は前年同期を6.0%上回り、4期連続の増収となりました。近時のインテリアトレンドや「省エネ」「節電」などの社会的需要を取り込んだ新製品の投入と、それに合わせた全国的なプロモーション活動や、ブラインド類を中心とした新規開拓活動を積極的に展開したことが成果に繋がったとみています。

利益面につきましても、為替の影響等による売上原価率の上昇や、配送費、販売関連費用などの増加はあったものの、売上高の増加により増益となりました。



Q

今後の中長期的なビジョンをお聞かせ下さい。

A

現在、当社グループの経営基盤の中核である住宅関連市場は、少子高齢化に伴う世帯数や新設住宅着工戸数の減少などにより、中・長期的には緩やかな縮小傾向に転ずることが予測されます。そのような環境下においても当社グループが持続的に成長していくために、2015年度に売上高250億円を見据えた中期経営計画による新たな取り組みを進めています。

コアビジネスである国内住宅市場については、インテリアトレンドを常に発信するリーディングカンパニーとしての《デザイン》力や、「省エネ」「安心」「安全」といった《機能》面を重視した新製品を継続的に開発することで競争力の強化を図り、漸減していく市場の中でも確実にシェアの維持・拡大を図っていきたく考えています。

成長分野として期待の大きい海外市場については、営業戦略や社内組織などの基本政策を見直しました。

以前から着実に実績を積み上げてきた高級ホテルや大型オフィスなどの物件納入に加え、経済成長により存在感を増しているアジアを中心とした新興国に対し、マーケティング全般に踏み込んだ活動を展開し、拡大する消費需要を確実に取り込んでいきたいと考えています。

また、国内においても、オフィスやホテル、病院、学校といった住宅以外の窓周り製品の獲得や、屋外用窓製品を含む省エネ指向にお応えする製品の販売活動を強化することでコアビジネスの周辺領域への事業拡大を進めています。このほか、本格的な高齢社会を迎えこれからますます需要が高まっていく介護関連用品の販売についても事業拡大や営業力強化を継続的にこなうとともに、新たな市場への参入などについても積極的に取り組み、新設住宅の動向に依存しない事業基盤の構築にも努力していきます。

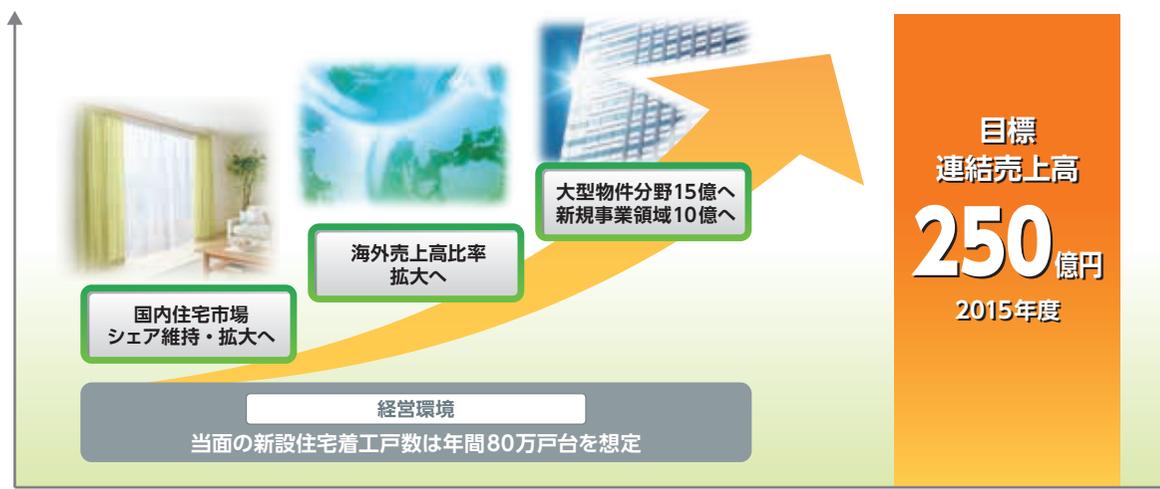
Q

最後に株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

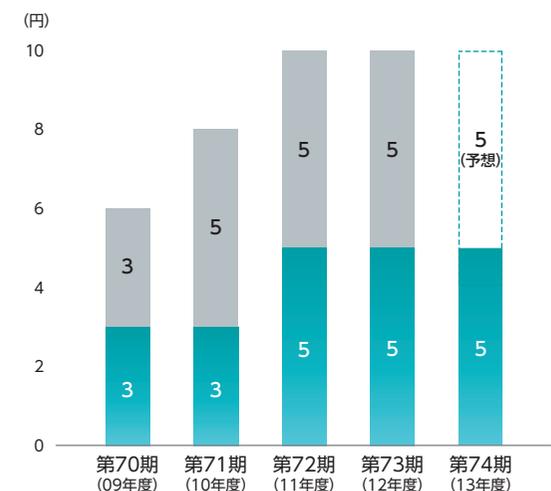
A

今後も企業の成長性を持続するために事業領域の拡大に向けた投資活動を積極的に展開する一方で、株主様への安定的な利益還元も継続していきます。中間期の配当金につきましては、前中間期と同様の5円といたしました。また、投資機会を拡大し、当社株式の流動性を高めるために、2012年4月2日より単元株式を1,000株から100株へ変更いたしました。先般、1単元の株主様まで対象を拡げる株主優待制度の拡充もおこないました。

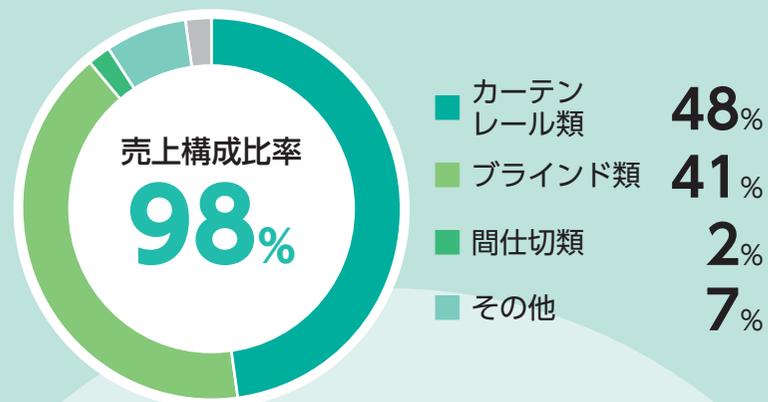
これからも株主及び投資家の皆様に魅力を感じていただける企業になれるよう努力してまいります。皆様からの一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。



配当金の推移



室内装飾関連事業



事業内容

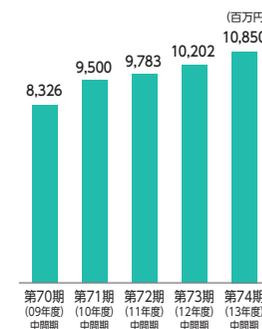
国内シェアNo.1のカーテンレールを中心に、ブラインド、ロールスクリーン等の窓装飾品や室内間仕切類などを開発・製造・販売しています。



108億5000百万円

売上高

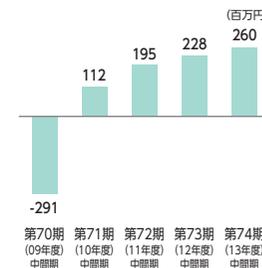
(前年同期比 6.4%増)



2億6000百万円

セグメント利益

(前年同期比 14.2%増)



当中間期の営業概況

当社の業績に影響の大きい新設住宅着工は、東日本大震災の復興需要などの下支えに加え、金利の先高感や消費税増税前の住宅購入意欲の高まりなども影響して前年同期を上回る水準にて推移しました。こうした市場背景の中、当社グループは競争力強化に向けた新製品の投入や、全国30都市での展示会開催をはじめとした積極的な営業活動を推進したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

主力のカーテンレールにおいては近時のインテリアトレンドを取り入れ、6月に発売した装飾性カーテンレール「フィットアーキ」が、そのデザイン性や機能性が評価されて2013年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。また、ブラインド類では断熱性能の高いハニカムスクリーン「エコシア」や、夏の強い日差しを遮る屋外用ロールスクリーン「マイテックアウター」などを発売し、「省エネ」「節電」といった需要の取り込みを推進しました。

セグメント利益は、為替の影響等による原価率の上昇や積極的な営業活動による販売促進費用の増加などあったものの、売上高が好調に推移したことにより増益となりました。

カーテンレール
国内シェア
No.1

GOOD DESIGN AWARD



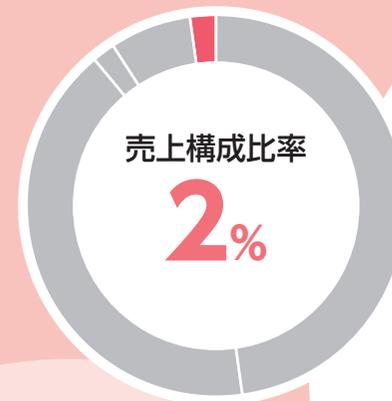
2013年グッドデザイン賞を受賞したカーテンレール「フィットアーキ」



ハニカムスクリーン
「エコシア」

屋外用ロールスクリーン
「マイテックアウター」

その他の事業

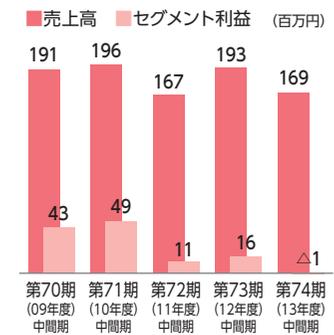


1億69百万円
売上高 (前年同期比12.2%減)

△1百万円
セグメント利益 (前年同期は16百万円の利益)

事業内容

ステッキを中心とした介護用品を開発、販売しております。そのほか、グループの物流事業請負業務や損害保険契約の代理業務などを行っております。



当中間期の営業概況

ステッキを中心とした介護関連用品の販売がやや低調に推移したことにより売上高は前年同期を下回りました。セグメント損益は営業力強化を目指した要員増加や販売関連費用などが増加したことにより損失となりました。

※ 事業セグメントについて：第72期（11年度）よりセグメントの一部を変更し、従来「その他の事業」に含まれていたプラスチックチェーン等の仕入販売を「室内装飾関連事業」に変更しました。

TOSOはこんな会社です!!

事業内容

窓周りの 総合プロデュース企業

TOSOは、皆様が普段何気なく接しているご自宅や会社などの「窓」を、インテリアの観点からより快適に演出するために提案し続ける「窓周りの総合プロデュース企業」です。

特にカーテンレールは、1949年の設立以来、60年以上にわたり国内シェアNo.1を守り続けており、ベーシックな製品からデザイン性の高いもの、開閉音が静かなものや電動カーテンレールなど、トップメーカーならではの多彩な品揃えを誇ります。また、設立当初よりカーテンレールの普及や啓蒙活動に尽力してきてだけでなく、プロ向けのカーテンスタイルの提案や縫製方法を解説した書籍を発行するなど、インテリアの観点から日本の住生活の活性化に取り組んできたことが脈々と受け継がれ、現在の皆様からの高い評価に繋がっていると考えています。



カーテンレール



ローマンシェード



パーティカルブラインド
(縦型)



ピクチャーレール

室内装飾関連事業
(窓周り製品等)

構成率 **98%**



その他の事業
(介護関連製品等)

構成率 **2%**



インテリアブラインド
(横型)



ロールスクリーン



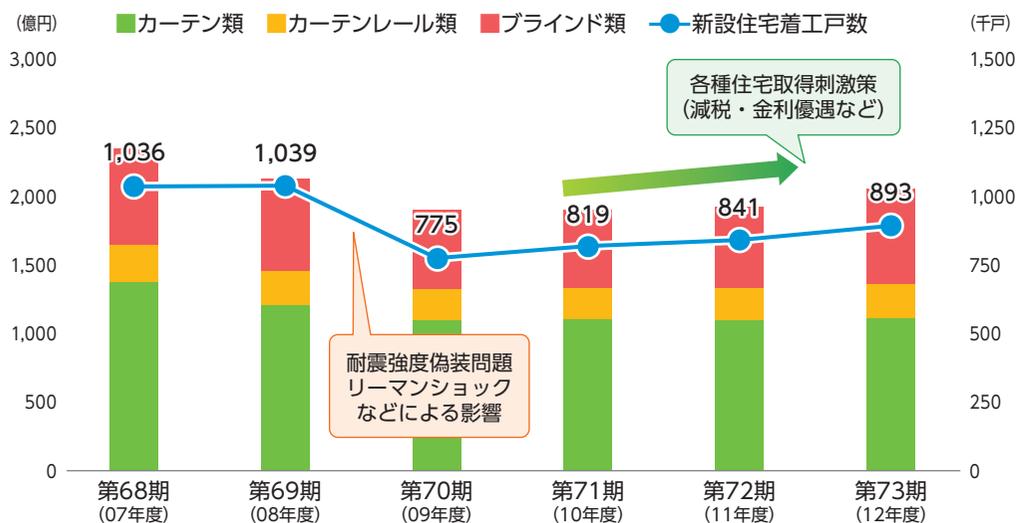
アコーディオンドア



ステッキ類



窓装飾品市場の推移



単位：億円、千戸

	第67期 (2006年度)	第68期 (2007年度)	第69期 (2008年度)	第70期 (2009年度)	第71期 (2010年度)	第72期 (2011年度)	第73期 (2012年度)
カーテン類	1,434	1,375	1,202	1,092	1,106	1,094	1,108
カーテンレール類	283	271	256	231	227	235	250
ブラインド類	700	699	669	575	571	595	700
窓装飾品合計	2,417	2,345	2,127	1,897	1,903	1,923	2,058
新設住宅着工戸数	1,285	1,036	1,039	775	819	841	893

※データ出典：(社) 日本インテリアファブリックス協会

カーテン類、カーテンレール類、ブラインド類を合計した窓装飾品の推定市場規模は、新設住宅着工戸数やオフィス、病院、公共施設などの非住宅施設の建設動向に大きく影響を受けます。2012年度の市場規模は全体で約2,000億円（卸売ベース）と推定されており、当社に関連するカーテンレール類およびブラインド類合計では約950億円とされています。リーマンショックの影響による縮小はありましたが、その後の各種住宅取得刺激策の効果などから若干の回復基調となっており、今後も同様の傾向が続くものと思われま

事業環境と当社の強み

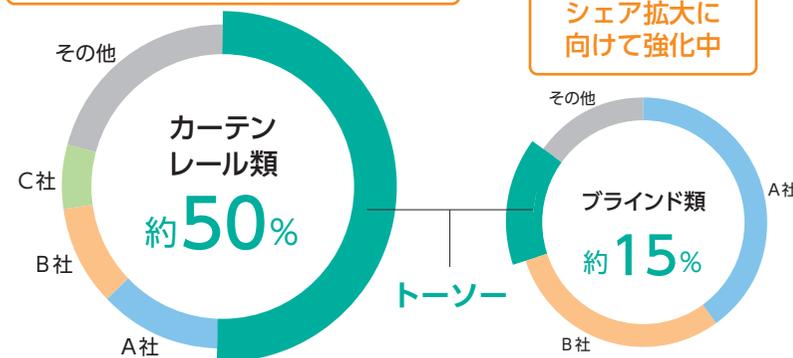
カーテンレール国内シェアは60年以上にわたりNo.1

当社が製品開発で重視している点は《デザイン》と《機能》です。デザイン面では、過去に30種類以上の製品でグッドデザイン賞を受賞しています。機能面では、製品本来の利便さや快適さの追求に加え、特に近年は省エネ・節電などの効果を強く引き出す製品づくりにも積極的に取り組んでいます。

カーテンレール類については、50%程度の国内シェアがあり、この「強み」が当社の安定した収益基盤となっています。今後も常にこだわりを持ち続け、アイデアと技術の向上を追求しながら新しい製品を開発することで、お客様の毎日を、そして明日をより魅力的なものにしていきたいと考えています。

ブラインド類については、国内市場においてまだまだ当社シェア拡大の余地があると考えています。今後も業界で好評をいただいている「コルト (Colt)」シリーズや省エネ・節電などのニーズに対応した戦略的製品の提案と積極的な営業活動を進めていきます。

安定した収益基盤 (事業の強み)



5月

新製品展示会
「トソーウインドウファッションフェア2013」を開催

インテリア業界関係者向けの展示会「トソーウインドウファッションフェア2013」を今年も全国30ヶ所で開催しました。6月発売の新製品を中心に、窓周りの省エネ対策製品やブラインド類での人気シリーズ「Colt(コルト)」などを展示。来場者からも『窓周りの最新トレンドスタイルが分かる』と好評をいただいております。

同時に開催したインテリアセミナーでは「光の効果でこんなに変わる、インテリアを引き立てる照明のテクニック」をテーマに講演をおこない、実例写真を交えた実践的な情報を提供しました。



8月

個人投資家向けIRイベント
「日経IRフェア 2013」へ出展

8/30(金)、31(土)に東京ビッグサイトにて開催された個人投資家向けIRイベント「日経IRフェア2013」(主催:日本経済新聞社)に出展しました。会場には2日間で17,000人を超える個人投資家の方々が来場され、当社はブース内で事業内容や中長期展望等のご説明をさせていただきました。ご来場いただいた方々からの貴重なご意見を真摯に受け止め、今後有意義な情報を発信できるようにIR活動をおこなってまいります。



2013年

4月

4月

「グリーンリモデルフェア2013」
へ出展

「環境配慮」「長持ち住宅」「CO₂削減」をコンセプトに事業領域の異なるTOTO株式会社、大建工業株式会社、YKK AP株式会社の3社が共同開催している「グリーンリモデルフェア2013」へコラボレーション企業として出展しました。

この展示会は、省エネ性能や耐久性、清掃性など『快適さと環境配慮を両立するリフォームを展示場で体験できる』と好評で、当社も「遮熱」「断熱」をキーワードに、人にも地球にもやさしく、安全かつ健康に暮らせる省エネ関連製品を提案しました。



5月

6月

8月

DIY産業向け「JAPAN DIY
HOMECENTER SHOW 2013」へ出展

幕張メッセにて開催された国内外のDIY・ホームセンター関連商品を一堂に展示し、業界の活性化を促進する展示会「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2013」に出展しました。



8月

株主優待制度を拡充

株主優待制度の対象となる持株数を「1,000株以上から100株以上」へ変更しました。(株主優待制度の詳細についてはP.8参照)

7月

8月

9月

アジア最大の福祉機器展
「第40回 国際福祉機器展
H.C.R 2013」へ出展

世界の福祉機器を一堂に集めたアジア最大の福祉機器展「第40回 国際福祉機器展」に介護関連用品の販売をおこなっているグループ会社、フジホーム株式会社が出展しました。



9月

株主優待

当社では、株主様の日頃のご支援にお応えすると共に、当社株式への投資魅力を高め、株主数の増加を図ることを目的に株主優待制度を設けております。

株主優待制度を拡充！！

対象となる株主様の株式保有数を10単元(1,000株)以上から1単元(100株)以上に変更いたしました。

ギフトカタログに掲載された旬の食材や生活用品等の中から、お好みの品物1点をお選びいただけます。また、環境保全活動の一環としてインドネシア共和国における植林活動への寄付も設けております。



※対象株主様：毎年3月末日現在の株主名簿に記載された100株以上保有の株主様を対象といたします。
 なお、2013年3月末日を権利確定日とする株主優待は、2013年9月末日をもってお申し込み受付を終了とさせていただきます。

株主優待権利確定月3月末

1単元(100株)以上	1,000円相当の優待品
10単元(1,000株)以上	3,000円相当の優待品

インドネシア植林へ375,000円を寄付

2010年度より株主優待に当社子会社の所在地であるインドネシア共和国における「植林活動への寄付」を設けております。

お申し込みいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。株主優待制度にお申し込みいただかなかった方々の優待相当金額と合わせて、2013年度は合計375,000円を寄付させていただきます。植林活動は2013年12月頃を予定しており、実施報告は「第74期のご報告」にてお知らせいたします。

今後も株主の皆様とともに環境保全活動に努めてまいりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

インドネシア植林の活動実績

累計本数 約8,400本 (2013年3月末現在)

※株主の皆様による寄付および当社植林活動による実績



株主配当

配当方針

当社は、上場企業として株主の皆様への利益還元は重要な責務であり、安定的な配当の継続を重視しつつ業績および今後の設備投資計画等を勘案して利益配分をおこないたいと考えており、2014年3月期の中間配当金につきましては前期同様に5円とさせていただきます。

なお、期末配当金につきましても5円、年間配当金は中間配当金と合わせて合計10円を予定しております。今後も収益力向上と財務体質の強化を図り、利益還元に努めてまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■1株あたり配当金の推移

	2011年度	2012年度	2013年度
中間配当金	5円	5円	5円
期末配当金	5円	5円	5円(予)
合計(年間)	10円	10円	10円(予)

中間連結貸借対照表 (単位: 百万円)

	前期末 2013年3月31日 現在	当中間期末 2013年9月30日 現在	増減(△)
資産の部			
流動資産	15,900	15,260	△640
固定資産	4,239	4,260	20
有形固定資産	3,277	3,289	12
無形固定資産	151	123	△28
投資その他の資産	810	847	36
POINT1 資産合計	20,140	19,521	△619
負債の部			
流動負債	7,463	6,093	△1,369
固定負債	2,941	3,540	599
POINT2 負債合計	10,404	9,634	△770
純資産の部			
株主資本	9,573	9,626	53
資本金	1,170	1,170	0
資本剰余金	1,370	1,370	0
利益剰余金	7,460	7,514	53
自己株式	△428	△428	0
その他の包括利益累計額	134	230	96
その他有価証券評価差額金	113	138	24
繰延ヘッジ損益	218	218	0
為替換算調整勘定	△146	△58	87
在外子会社の退職給付債務調整額	△51	△67	△16
少数株主持分	28	29	0
純資産合計	9,735	9,886	150
負債純資産合計	20,140	19,521	△619

POINT

POINT1 資産合計 前期末より619百万円の減少
流動資産では、売上高の季節変動の影響により現金及び預金が647百万円増加し、受取手形及び売掛金が1,568百万円減少しました。

POINT2 負債合計 前期末より770百万円の減少
支払手形及び買掛金が325百万円、未払法人税等が275百万円それぞれ減少しました。有利子負債については社債の償還などにより40百万円減少しました。

中間連結損益計算書 (単位: 百万円)

	前中間期 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	当中間期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	増減(△)
売上高	10,395	11,020	625
売上原価	6,000	6,456	455
売上総利益	4,394	4,564	169
販売費及び一般管理費	4,149	4,305	155
POINT3 営業利益	244	259	14
営業外収益	41	41	0
営業外費用	71	58	△13
経常利益	214	242	28
特別利益	1	0	△1
特別損失	2	2	0
税金等調整前中間純利益	212	240	27
法人税、住民税及び事業税	161	105	△55
法人税等調整額	△41	30	71
法人税等合計	120	135	15
少数株主損益調整前中間純利益	92	104	11
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△1	△1
POINT4 中間純利益	92	105	12

POINT3 営業利益 前年同期比14百万円の増加
売上原価率の上昇や販売費及び一般管理費の増加はあったものの、売上高が625百万円増加したことにより増益となりました。

POINT4 中間純利益 前年同期比12百万円の増加
経常利益は営業外費用の減少により28百万円の増益となり、中間純利益も増益となりました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

	前中間期 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	当中間期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	増減(△)
POINT5 営業活動によるキャッシュ・フロー	758	988	229
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152	△184	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△129	△191	△61
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	34	30
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	480	647	166
現金及び現金同等物の期首残高	2,849	3,054	204
現金及び現金同等物の中間残高	3,330	3,701	371

POINT5 営業活動によるキャッシュ・フロー
売上債権の減少による1,448百万円の収入があったほか、法人税の支払いにより389百万円の支出がありました。

会社概要 (2013年9月30日現在)

会社名 トーソー株式会社
 英文社名 TOSO CO.,LTD.
 本社所在地 〒104-0033
 東京都中央区新川一丁目4番9号

電話 03(3552)1211(代)

設立 1949年9月

資本金 11億7,000万円

主な事業内容 インテリア製品の開発、製造、販売
 国土交通大臣許可内装仕上工事業(般-23)第16989号
 ISO9001認証取得:JQA-QM5920製造本部/商品開発本部
 ISO14001認証取得:JQA-EM2416つくば事業場/水海道事業場

従業員数 966名(連結)、585名(単体)

役員

《取締役・監査役》

代表取締役社長	大槻 保人
専務取締役	中村 潔
取締役相談役	大槻 秀人
取締役	松尾 守
取締役	林 淳之
取締役	久保田 英司
取締役	森 兼康 博
常勤監査役	山井 潤一
監査役	加瀬 兼司
監査役	久保 英幸

(注) 監査役加瀬兼司氏および監査役久保英幸氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

《執行役員》

執行役員	花田 正孝
執行役員	藤田 洋一
執行役員	前川 圭二
執行役員	庄中 基秋
執行役員	結束 正
執行役員	本多 敏光
執行役員	渡辺 泰行
執行役員	厚木 道雄

事業拠点一覧

営業拠点	札幌支店、仙台支店、さいたま支店、 東京支店、横浜支店、名古屋支店、大阪支店、 広島支店、福岡支店 営業所15ヶ所
国内工場	つくば工場(茨城県)、水海道工場(茨城県)、 兵庫工場(兵庫県)
物流拠点	流通センター(茨城県)、 流通センター(兵庫県)、札幌配送センター、 福岡配送センター
ショールーム	トーソープラザ(東京都)
連結子会社	サイレントグリス株式会社 トーソーサービス株式会社 フジホーム株式会社 トーソー流通サービス株式会社 トーソー商事株式会社 P.T.トーソー・インダストリー・インドネシア 東装窓飾(上海)有限公司 トーソーヨーロッパS.A.S.



株式情報 (2013年9月30日現在)

発行可能株式総数 30,000,000株
 発行済株式の総数 11,897,600株
 株主数 2,157名

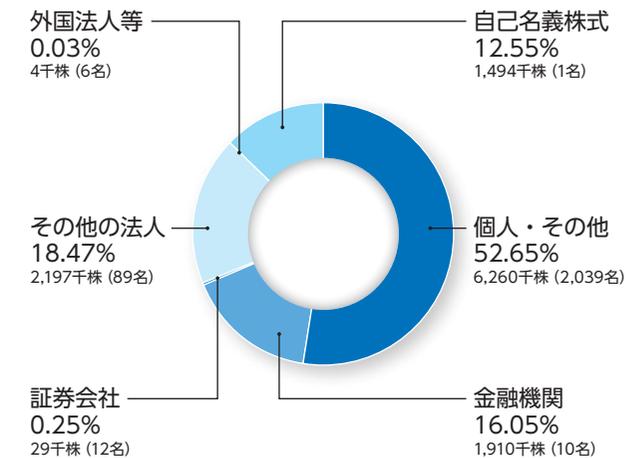
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大槻 保人	1,418	11.92
トーソー取引先持株会	861	7.23
トーソー社員持株会	621	5.22
株式会社みずほ銀行	458	3.85
十和運送株式会社	354	2.98
株式会社三菱東京UFJ銀行	338	2.84
第一生命保険株式会社	222	1.86
株式会社東京都市銀行	216	1.82
株式会社常陽銀行	215	1.80
大槻 秀人	205	1.72

(注1) 持株数は千株未満を、持株比率は小数点第2位未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。

(注2) 当社は自己株式1,494千株を保有しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所市場第二部
公告方法	電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する。

ホームページアドレス <http://www.toso.co.jp>

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
※2013年6月28日より、株主名簿管理人をみずほ信託銀行株式会社に変更いたしました。つきましては、連絡先が以下のとおり変更となります。

同連絡先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-288-324 (フリーダイヤル)
取次事務はみずほ信託銀行株式会社 (トラストラウンジを除く)、株式会社みずほ銀行、みずほ証券株式会社 (カスタマープラザを除く) の各本店および営業所で行っております。

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

同連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際には、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をされる株主様は大切に保管してください。

(表紙写真)
カーテンレール
「コルティナ ウォルナット」

トソー株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番9号

<http://www.toso.co.jp>

証券コード：5956



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。